

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム まごころ

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 11 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心にチームワークの取れた介護の実践に取り組んでいるが、これからのグループホームとして、運営が安定して行なわれるための、若手の職員の介護技術の向上と、意識の高揚を目指していく。	その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ターミナルケアの指針を基に利用者や家族に説明しているが、利用者の重度化に合わせて、家族と話し合い、主治医の意見を聞きながら、利用者の終末期が安心できる体制の構築を目指していく。	看取り支援には、主治医と家族の協力と、職員全員によるチーム介護に取り組むことが重要であるので、看取りの勉強会を定期開催し、職員の介護力の向上と意識の高揚を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。